

★本校のPTA（代表：蓮本泰則会長）が9/19 金に、
陳情書『桐生市立商業高校の教育環境改善に関する緊急要望』を
桐生市教育委員会（小林一弘桐生市教育長）に提出！★

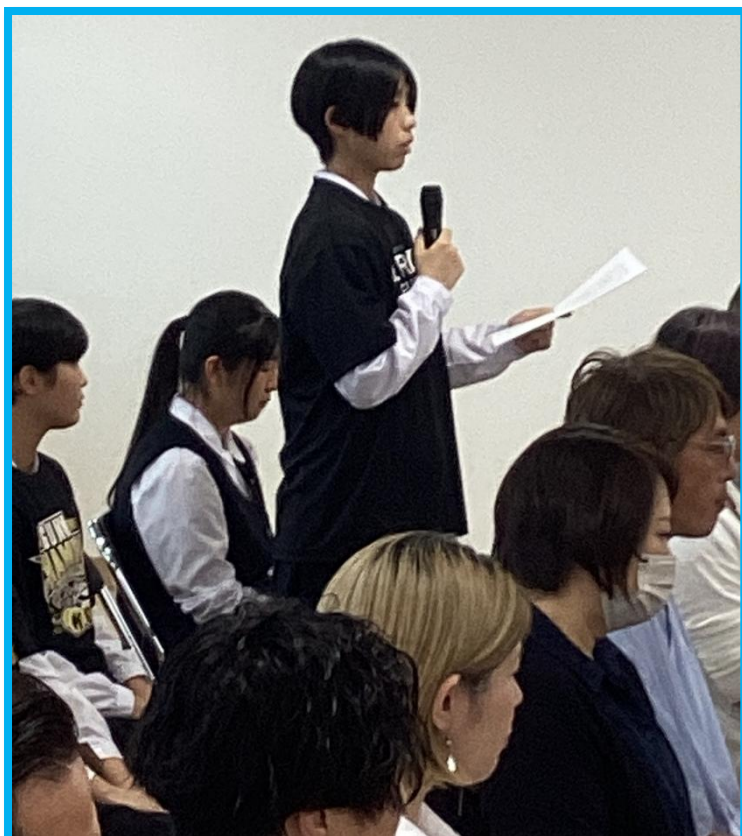


9/19 金放課後、本校 PTA の蓮本泰則会長ら本部役員6人と、本校生徒有志23人（全日制20名、定時制3名）が、桐生市教育センターを訪れ、蓮本会長が小林一弘教育長に陳情書を手渡しました。そのほか、校長、全日制教頭、定時制教頭、事務長も同行し、『子どもたちの命と未来を守るための抜本的な対策を』と改善を求めました。

群馬県教育委員会は2024 度から県立学校の体育館へのエアコン設置を開始し、2028 年度の全校設置を目指して整備を進めています。桐生市内の県立高校では桐高と清桜高校が前年度設置済みで、桐工が今年度秋に完成予定であり、桐生市内公立高校で計画すらないのは本校だけなのです。

陳情書では『エアコンのない体育館を使用するバスケットボール部やバレーボール部、バドミントン部など、全国大会出場実績のある部活動においても、過酷な環境での活動を強いられているだけでなく、来年度以降の入学者としての生徒募集にも悪影響が懸念される』と指摘されています。

今年の8/5 火には、伊勢崎市で41.8 度の国内観測史上最高気温を記録し、桐生市は41.2 度を記録。記録的な猛暑を受けて、山本一太知事は、県立高校の体育館など県有施設のエアコン整備を前倒しで進めるための経費を盛りこんだ9 月補正予算案を発表しました。この補正予算により、今年度は17 校で工事をする予定だったそうですが、5 校を追加し、来夏までに設置することになりました。こういった『スピード対応』がどれほど、現場にとってありがたいことかという、私の個人的意見も伝えさせていただきました。





校舎内トイレの洋式化も、女子トイレ50器中18器（36%）、男子トイレ（大便器）26器中11器（42%）にとどまり、『和式を避けて洋式が空くの待つ生徒』もあり、『健康被害の懸念もある』と陳情書に記載していただきました。各教室のインターネット接続環境も『授業中、生徒全員が同時にWi-Fiに接続できず、誰かがつながると他が切れるといった事象が頻発』『情報処理教育を重視する本校で、県が進めるDX化やデジタルクリエイティブ人材育成の流れに逆行する状況』とも訴えていただきました。また、音楽室や図書館にもWi-Fi環境を設置してほしいという要望を伝えていただきました。

蓮本会長は陳情書提出時に『長年にわたり改善されないことに多くの保護者が憤りを感じている』と伝えた上で、『現状を理解いただきたい。生徒の立場で考えていただき、一日も早く改善を』と要望。小林教育長は『庁内でしっかり受け止めて検討を進めたい』と答えていただきました。

陳情書提出に立ち会った本校生徒からは『猛暑日が多い中、工夫しながら体育館で部活動をしてきた』『バドミントン部では競技の特性から窓もカーテンも開けることができない状況であり、取り返しのつかないことが起きてからでは遅い』『トイレのタイルの床は不衛生、しかも和式では床面との距離が近く、心配』『定時制の授業でもWi-Fiがつながりにくいときがある、全日制ではもっと大変な状況であり、授業の進行にもっと支障があるのでは？』と一刻も早い陳情内容の実現を望む声が相次ぎました。

今回の陳情書の提出は、PTA本部役員のみなさまが中心となり、当初は桐生市長に対して本校の施設改善を求める陳情活動を計画していました。急遽、桐生市教育長への陳情活動に変更となりましたが、この機会に、多くの本校の生徒がPTA本部役員の方々に同行することになりました。しかも、全日制からは20名、定時制からも3名の生徒が手を挙げてくれました。これはまさに、保護者の主体的な行動である『保護者 Agency』が、生徒の主体性『生徒 Agency』を引き出した好例だと言えます。

また、市長や市教育長に自分たちの願いを、自らの言葉で直接伝えるという経験は、『自分も社会の一員である』という『当事者意識』を育む貴重な学びとなったはずです。そして、こうした『そこで暮らしている人々の声を、行政を司る方々へ届ける実体験』が『将来の政治参加』や『社会への関心』につながると、私は強く信じています。

18歳で選挙権を得る世代ですが、なかなか投票率は上がっていないと耳にします。それは『投票してもなににも変わらない』というあきらめがあるからかもしれません。『そうではない！声をあげれば伝わるんだ！』という経験になることが必要であると思います！今回の活動のように、桐商生には『自分だけでなく、たくさんの人々の Well-being につながる行動の経験』をとおり、立派な社会人になってもらいたいと願っています！なお、PTA本部役員のみなさまは、市教育長への陳情書提出のあと、市庁舎を訪問し、桐生市議会議長にも同内容の陳情書を提出していただきました。保護者のみなさん、生徒のみなさん、ありがとうございました！『桐商 SPARK!』の精神で『主体性』や『当事者意識』を育成し、『生徒ファースト』の学校経営を目指して参ります！引き続き、よろしくお願いします！ 校長 星野 亨